



愛知県がんセンター 地域連携緩和ケア勉強会・カンファレンス

「AYA 世代がん患者の治療期から在宅看取りまでのケア」

- ・愛知県がんセンター 薬物療法科 安藤正志 医師
緩和ケアセンター 吉川恵 看護師
- ・伊勢赤十字病院 緩和ケアセンター 大市三鈴 看護師
- ・いせ在宅医療クリニック 大久保薫 医師
- ・訪問看護ほたるいせ 岡田まり 看護師

日時：9月5日（木） 17:30-18:30

オンライン（zoom）

対象：院内職員及び地域の医療関係者

日本では、毎年約2万人のAYA世代が、がんを発症すると推定されています。AYA世代でがんを発症する人は、1年間でがんを発症する人100人のうち2人程度です。このような時期にがんと診断されると、成人のがんに比べて情報が少なく見つけることが難しいなど、不安を抱く人も少なくありません。また、AYA世代は、多くの人にとって親から自立したり、生活の中心が家庭や学校から社会での活動に移行したりしていくなど、大きな転換期を迎える時期でもあります。今回は、上記テーマで10代の患者の事例をもとに、各施設で携わった医療者と共に、AYA世代が直面する医療、社会、心理的な課題などについて意見交換できればと思います。



事前申し込みが必要です。

こちらから申し込みをお願い致します。

8/29 までに <https://forms.office.com/r/fRnd9PsayN>

または、左記の **QRコード**でお申し込みください。

お手数をお掛けしますが宜しくお願い致します。

招待メールを改めて送らせていただきます。

お問い合わせ先： 愛知県がんセンター 052-762-6111

緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー 吉川恵（内線）6494